

サンコール株式会社

(証券コード：5985)

～ 平成31年3月期 第2四半期決算報告 ～

ご注意

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

平成30年11月21日
代表取締役社長 大谷忠雄

サンコール株式会社 決算報告

1. 会社概要
2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約
3. 平成31年3月期 業績予想
4. 第2四半期トピックス

1. 会社概要

【会社概要】



京都本社

設立 : 1943年6月
資本金 : 48億8百万円
本社 : 京都市
証券取引所 : 東証 1 部
従業員数 : 連結2,299名
 単体591名
 (2018年第2四半期末時点)

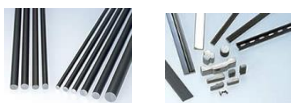
【海外拠点】 7か国15拠点

	国・地域	出資比率	生產品目
1	アメリカ	インディアナ州	弁ばね、リングギアほか
2		サウスカロライナ州	光通信部品（販売拠点）
3		テキサス州	
4	メキシコ	アグアスカリエンテス州	弁ばね用材料、リングギア
5		アグアスカリエンテス州	シートベルト用ぜんまいばね
6	中国	広州	弁ばね、リングギアほか
7		広州	弁ばね用材料（販売拠点）
8		佛山	弁ばね用材料
9		天津	リングギア
10		深圳	プリンター用ローラー、光通信部品
11		香港	ほか
12	タイ	チョンブリ県	弁ばね、リングギア、 シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
13	ベトナム	ハノイ	プリンター用ローラーほか
14	韓国	梁山	シートベルト用ぜんまいばね材料
15	フィリピン	マニラ	HDD用サスペンション（駐在員事務所）

【事業分野・主要製品】

自動車分野

精密機能材料



弁ばね用線

精密
异形線

精密機能部品



弁ばね

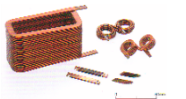
リングギア

バルブコッター

异形リング



ぜんまいばね



リアクターコイル



モーターコア部品

電子情報通信分野

HDD部品



HDD
サスペンション

プリンター部品



ローラー



トルクリミッター
スプリングクラッチ

デジトロ部品



光コネクタ

光アダプタ



プローブ
ピン

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約 連結経営成績（累計）

(単位：百万円)	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	20,157	23,389	+3,232	16.0%
営業利益	873	2,138	+1,265	144.9%
経常利益	1,160	2,315	+1,155	99.6%
当期純利益	884	1,394	+510	57.6%

一株当たり利益	27.82円	43.73円	+15.91円	---
平均為替レート				
円/USD	111.07円	110.27円	△0.80円	---
円/EURO	126.29円	129.84円	+3.55円	

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約 連結経営成績 / 主要要因

第2四半期連結業績

日本、北米、アジア、全てのセグメントで増収。
自動車分野並びにHDD用サスペンションの販売好調によるもの。

－ 売上

- ・弁バネ用鋼材 日本、中国、メキシコ3拠点 生産・販売増
- ・エンジン、ミッション用部品 日本、中国、ASEAN 販売増
- ・HDD用サスペンション 需要高水準、販売増

－ 営業利益

- ・北米子会社自動車部品の生産性向上
- ・HDD用サスペンション増収、原価低減効果

－ 純利益

- ・中国子会社工場移転費用計上

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約 営業外損益

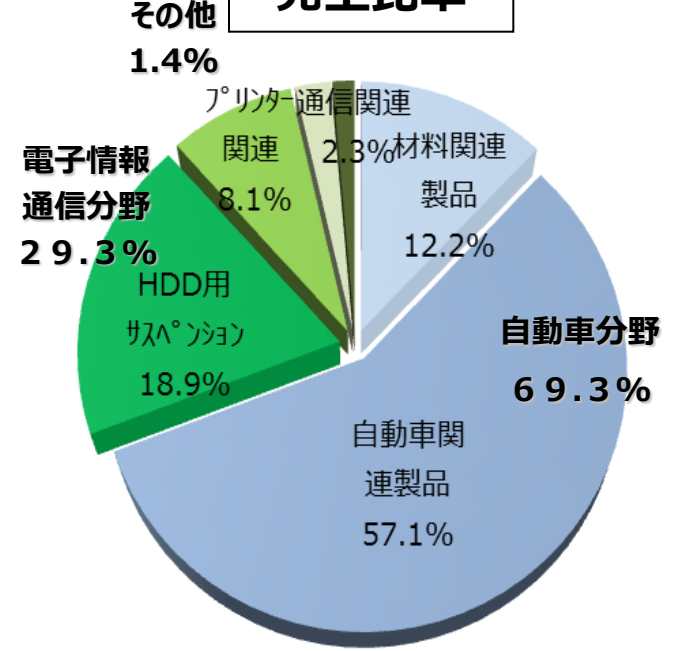
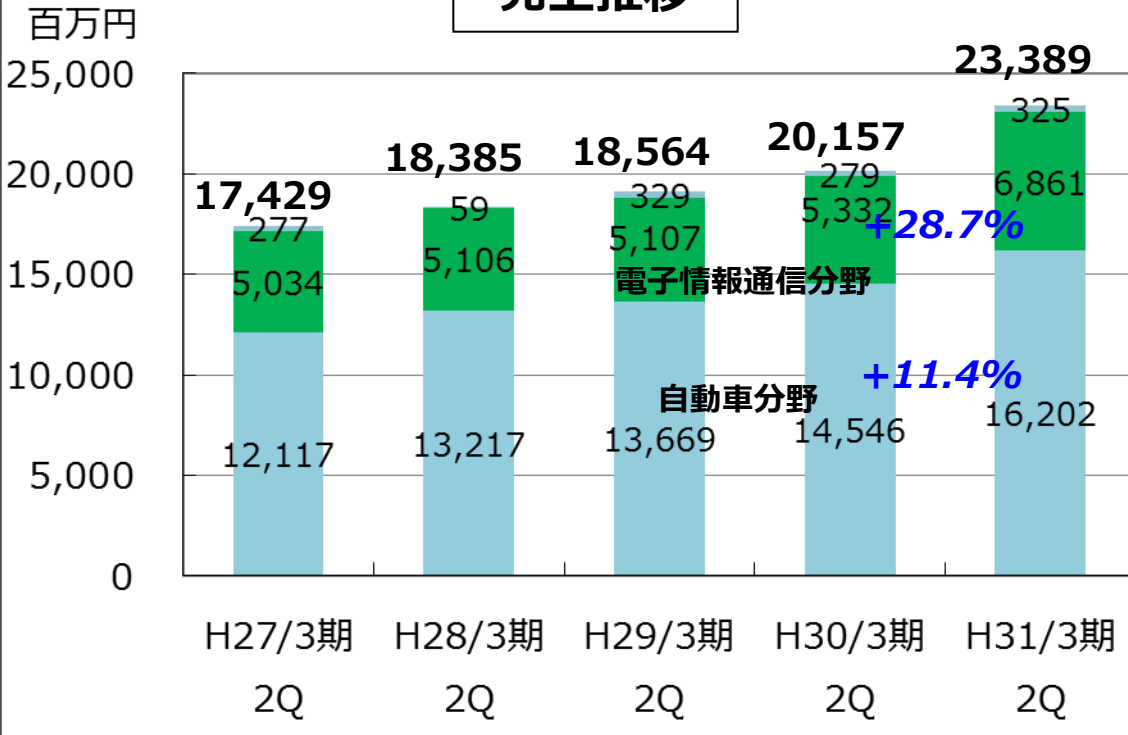
(単位：百万円)	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	
	実績	実績	前年同期比 増減額
受取配当金	60	74	+14
為替差益	208	68	△140
その他	105	121	+16
営業外収益合計	374	266	△108
持分法投資損失	▲18	▲14	+4
為替差損	—	—	—
その他	▲68	▲74	△6
営業外費用合計	▲87	▲88	△1
営業外損益合計	287	178	△109

- ・ 為替差損益 : 前年比減 (期中平均 前年111.07/ドル→当期110.27/ドル)

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約 事業別売上推移・比率

売上推移

売上比率



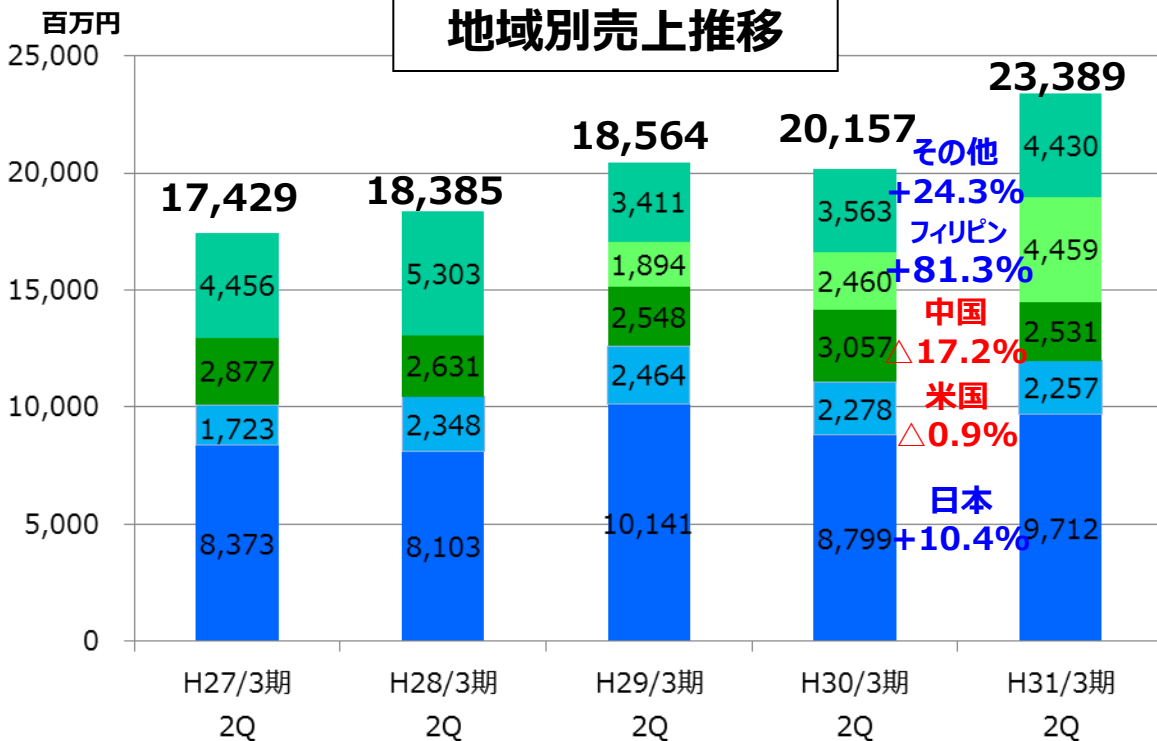
ー H31/3期第2四半期実績

- 自動車分野 : 中国、メキシコ弁ばね用鋼材販売増
アジア市場向けエンジン・ミッション用部品、北米向けHV関連部品伸張
- 電子情報通信分野 : HDDサスペンション 需要高水準で推移
プリンター 給紙制御部品販売増
通信関連 主要顧客向け販売低水準で推移

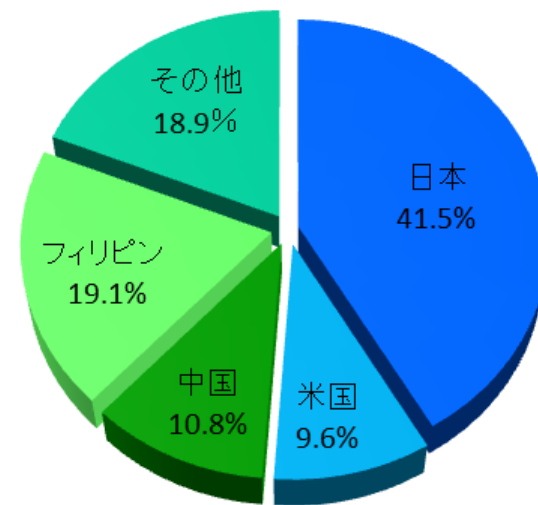
2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約

地域別売上推移・比率

地域別売上推移



地域別売上比率



* 売上高は顧客の所在地に基づく分類

ー H31/3期第2四半期

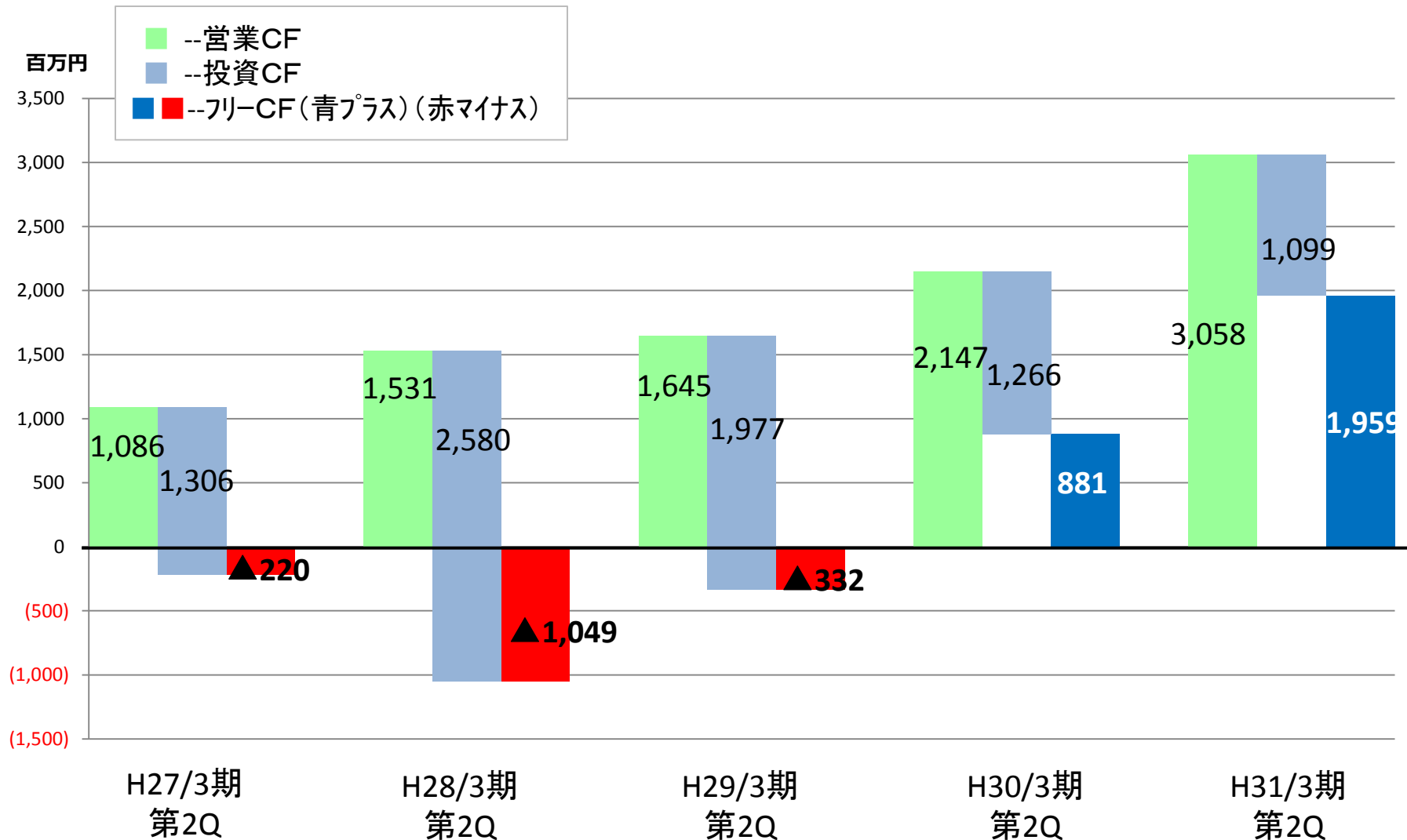
- ・ 日本 : 弁ばね用鋼材、ミッション用部品、HV関連部品を中心に自動車関連増加
- ・ 米国 : エンジン用部品堅調、通信関連主要顧客向け低迷
- ・ 中国 : エンジン用部品が順調に推移、HDD用サスペンション納入拠点移管により減少
- ・ フィリピン : HDD用サスペンションの販売増
- ・ その他 : メキシコ子会社弁ばね用鋼材売上伸長、ベトナムでプリンター関連販売復調

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約 連結財政状態

(単位：百万円)	平成30年3月末	平成30年9月末	増減
資産合計	49,257	50,869	1,612
現預金	10,677	12,311	1,634
売上債権	9,618	10,118	500
棚卸資産	5,532	5,171	△ 361
その他流動資産	507	466	△ 41
固定資産	22,931	22,800	△ 131
負債合計	14,086	14,881	795
流動負債	10,241	10,801	560
固定負債	3,844	4,079	235
(有利子負債)	2,617	2,731	114
純資産合計	35,171	35,987	816

2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約

フリーキャッシュフロー



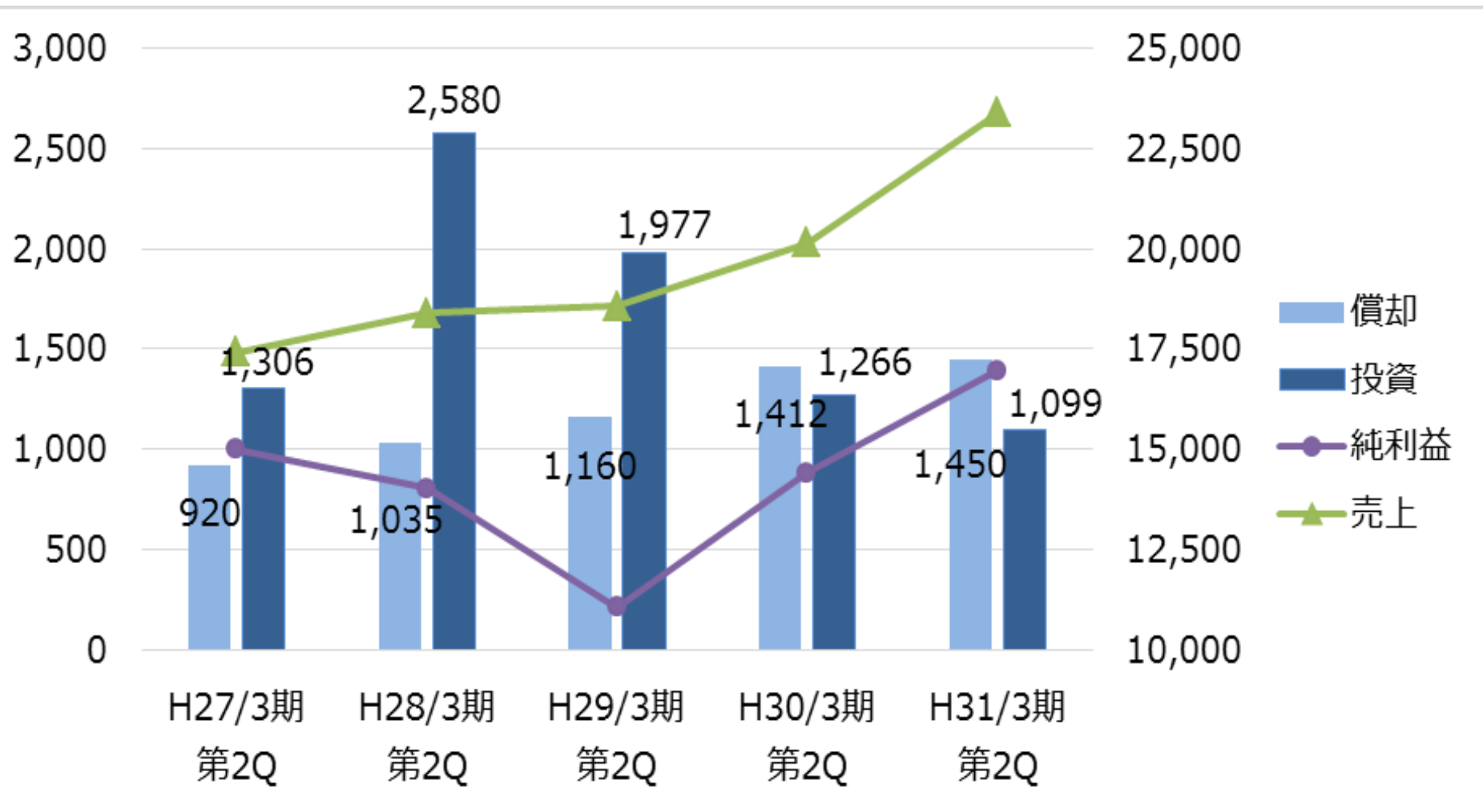


2. 平成31年3月期 第2四半期決算要約

投資・償却金額

投資・償却
売上
純利益
百万円

売上
百万円



3. 平成31年3月期 業績予想

【通期見通し】

(単位：百万円)	平成31年3月期 第2四半期		平成31年3月期
	業績予想 (18年8月公示)	実績	業績予想修正 (18年11月公示)
売上高	23,500	23,389	46,000
営業利益	2,000	2,138	3,300
経常利益	2,100	2,315	3,400
当期純利益	1,200	1,394	2,200

3. 平成31年3月期 業績予想

業績予想 修正理由

第2四半期業績並びに足元の需要予測を反映し、以下前提に基づく予想に修正。

- ー 為替レート : ドル

第2四半期期中平均	110.27円
下期想定レート	110.00円

- ー 需要予測
 - ・自動車分野 : 国内、中国一部部品で減少、ASEAN堅調
北米季節要因による生産減
 - ・HDD用サスペンション : 一時的調整局面を予想

- ー その他
 - ・北米関税による影響懸念

4. 第2四半期トピックス

— 中期経営方針 ・ 進捗状況 —

中期経営方針 :

『企業価値向上』を目指し、コア事業の経営資源の効率化と成長分野への投資による事業の拡大発展を進める。

1) 自動車分野

既存事業の基盤強化と拡大

自動車用鋼材生産能力引き上げによるグローバル最適生産・供給体制の構築

2) 電子情報通信分野

経営資源の集中と開発力、営業力の強化によるシェアの維持・拡大

3) 新規事業

自動車電動化部品の開発、新素材の研究開発、医療・環境事業への参入

4. 第2四半期トピックス - 自動車分野 -

基盤強化と拡大： 自動車用鋼材グローバル生産・供給



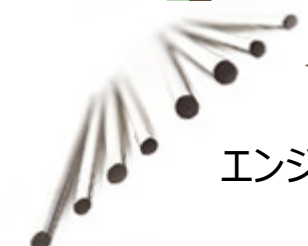
日本：サンコール株式会社 本社工場 京都



メキシコ：SUNCALL TECHNOLOGIES MEXICO, S.A. DE C.V.



中国：神鋼新確弹簧鋼線（佛山）有限公司
（合弁会社 サンコール25%出資）



エンジン弁ばね用鋼材

4. 第2四半期トピックス - 自動車分野 -

基盤強化と拡大： 自動車用エンジン弁バネ生産



日本：サンコール株式会社 豊田工場



日本：サンコール菊池株式会社



米国：SUNCALL AMERICA INC.
Automotive Division of Indiana



中国：SUNCALL (Guangzhou) CO., LTD.



タイ：SUNCALL HIGH PRECISION(THAILAND) LTD.

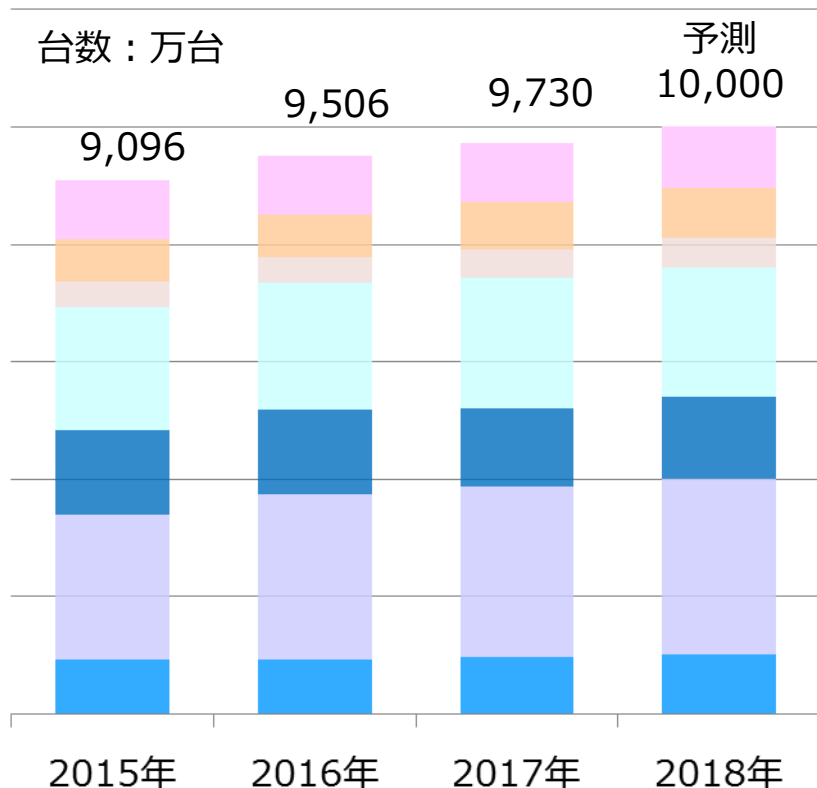


エンジン弁ばね

4. 第2四半期トピックス

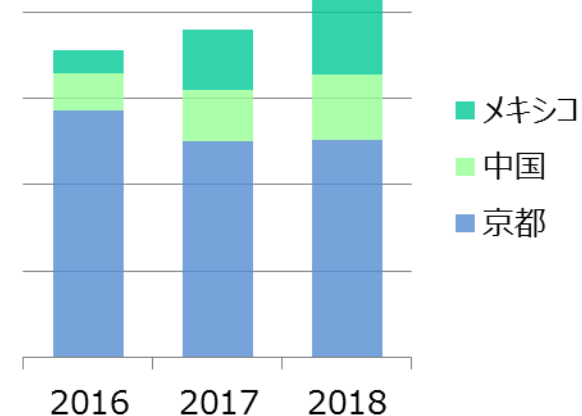
— 自動車分野 —

基盤強化と拡大： 自動車生産台数推移



グローバル生産台数
2016 - 2018年
5%強の増加

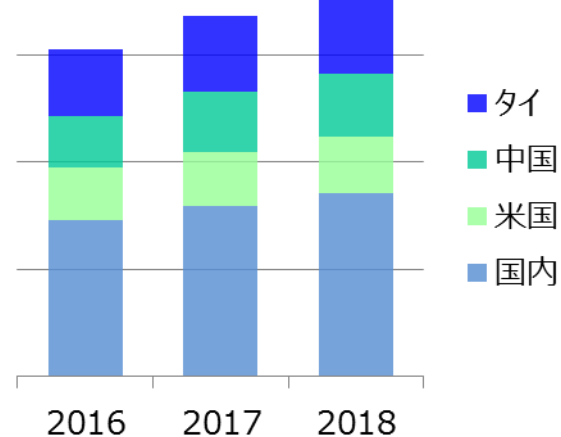
エンジン弁ばね用鋼材



グローバル生産量

中期計画期間('16-'18年度) 21%増 (予想)

エンジン弁ばね



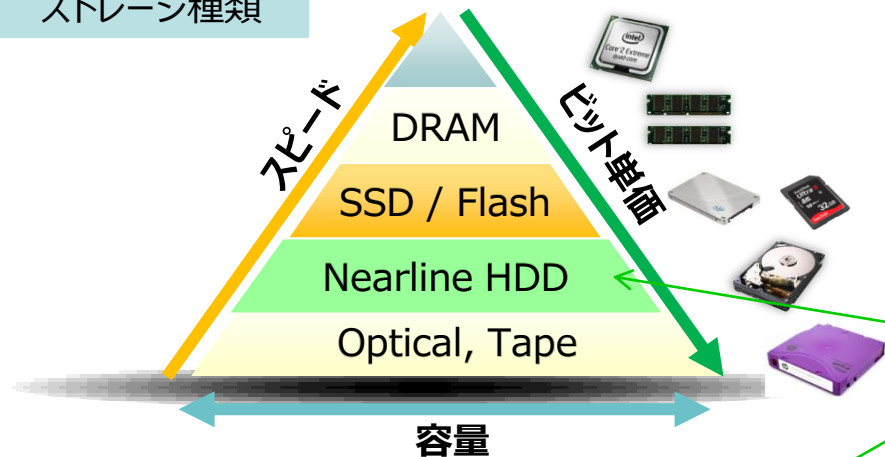
グローバル生産量

中期計画期間('16-'18年度) 19%増 (予想)

4. 第2四半期トピックス - HDD用サスペンション -

経営資源の集中 / シェアの維持・拡大

ストレージ種類



* Nearline HDD

ニアライン (Nearline) はオンラインとオフラインの中間という意味で、頻繁に使わないデータを保存する用途として、主にクラウド環境、データセンタでの需要が増加

ターゲット領域

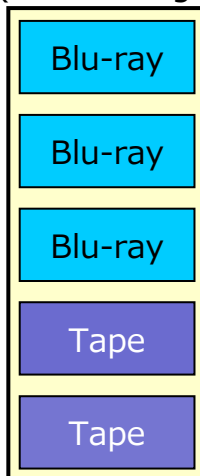
サーバ ストレージ構成

構成タイプ / 使用業種 (例) :

- ・コスト重視 SNS サービス
- ・バランス型 Web サービス
- ・スピード重視 銀行、証券など

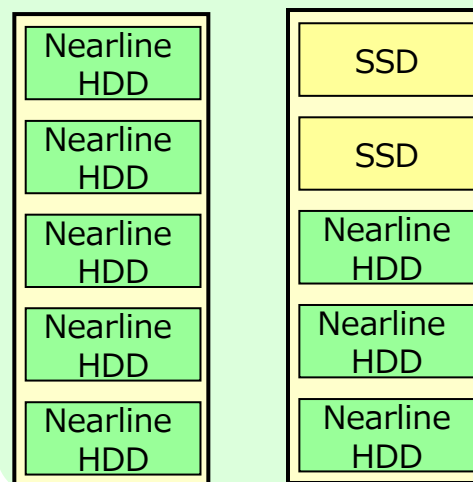
コスト重視

低アクセス頻度 (Cold Storage)

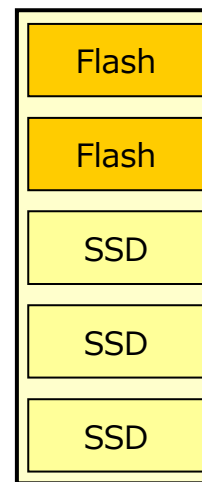


バランス型

容量重点



スピード重視
高コスト



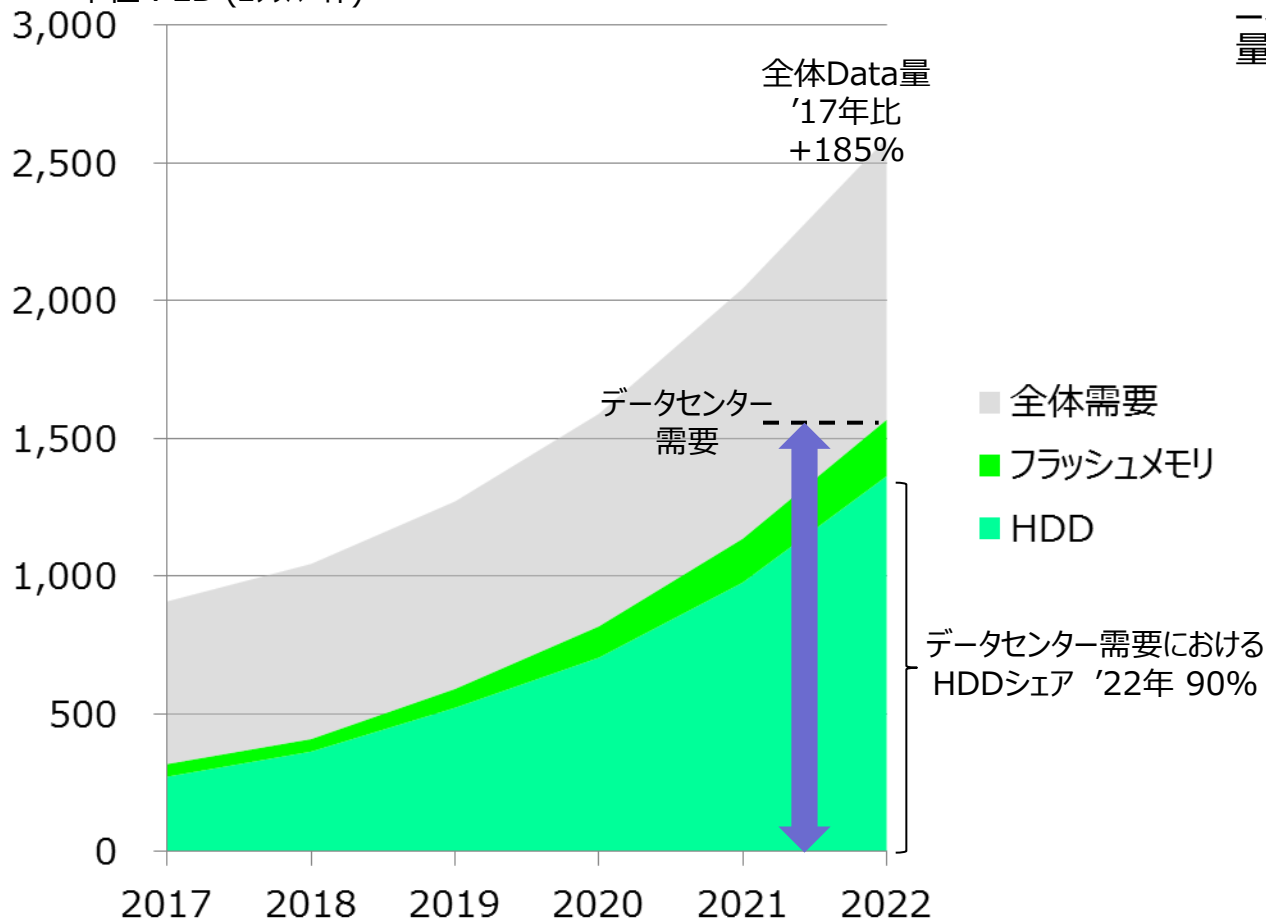
4. 第2四半期トピックス

— HDD用サスペンション —

経営資源の集中 / シェアの維持・拡大

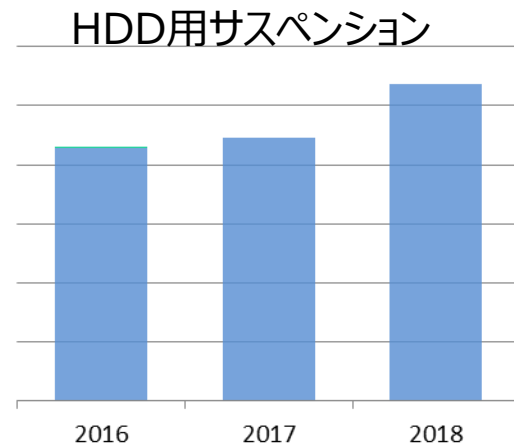
— 記憶装置別記憶容量 将来予測

単位：EB (1KB²ト)



— 当社方針

ニアラインHDD製品を主軸とした製品開発、
量産体制の確立に経営資源を集中



生産数量
中期計画期間('16-'18年度)
26%増 (予想)

4. 第2四半期トピックス

- 新規事業 -



4. 第2四半期トピックス - 新規事業 -

自動車電動化部品の開発

大電流バスバー/センサー : 自動車EV化による大電流用途に対応

【製品】



バスバー

モーター、インバータ、バッテリー ユニット内配線



シャントオンバスバー



回路付きシャントセンサー

* KOA株式会社との共同開発

車載・産業機器・エネルギー機器 電流検出

【展開活動】

▼'18年5月 Battery Show出展
Hannover, Germany



出展ブース
訪問企業
・引合対応
・試作品供給

◆'19年1月 EV Japan出展予定
東京ビックサイト

【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

▼バスバー量産化

▼シャントオンバスバー量産化
- 特殊車両、産業機械 -

◆回路付きシャントセンサー
商用車搭載に向け準備中

●回路付きシャントセンサー量産化
●欧州新規商権の具体化

4. 第2四半期トピックス

— 新規事業 —

自動車電動化部品の開発

電動化主要部品

- モーター/発電機
- 電池
- 充電器
- インバータ、コンバータ
- 高圧系ハーネス・コネクター
- 操舵装置
- ブレーキ
- 省力型照明機器
- エアコン用コンプレッサー
- カメラ、距離センサー
- ディスプレイ、ナビ
- 外部通信、コミュニケーション

製品開発
マッチング

構成部品
設計開発

技術提供
開発協力

サンコール
設計・製造・分析技術

- 金属加工
- 熱処理
- 溶接
- 部品実装
- 絶縁塗装
- 金属特性解析技術

車載 開発・量産製品



応用開発 製造技術/優位性 (事例)

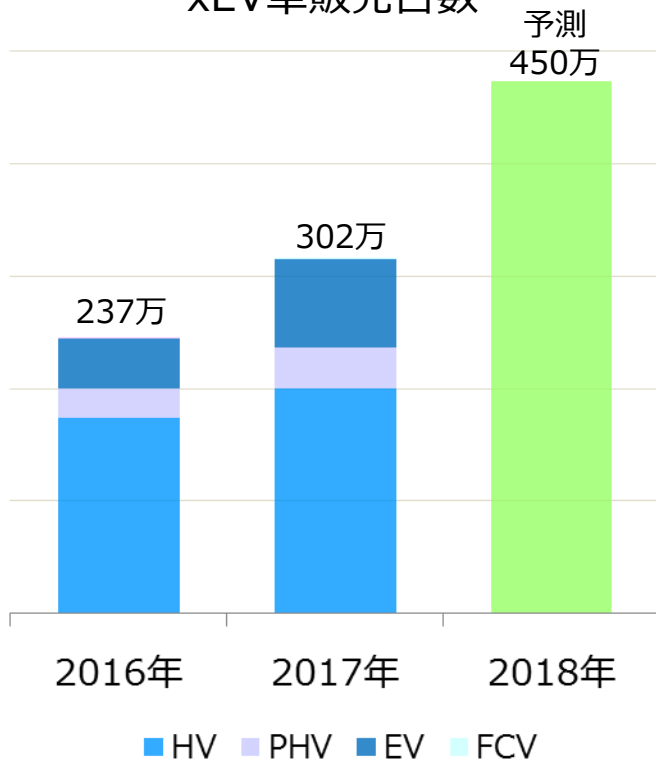
- ・電着絶縁塗装/耐熱性 → 航空機エンジン電動化プログラム(IHI様)
- ・素子ボンディング/放熱性 → 電装機器・構成部品
- ・金属加工/微細プレス・切断 → 精密機器・構成部品

4. 第2四半期トピックス

— 新規事業 —

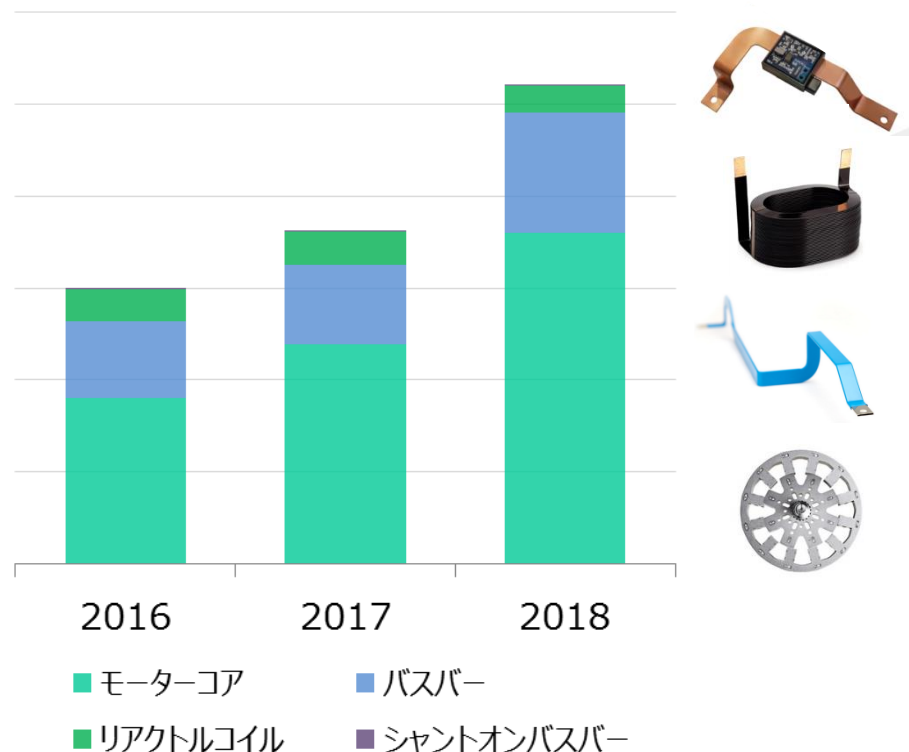
自動車電動化部品の開発

xEV車販売台数



中期計画期間('16-'18年度)
90%増 (予測)

電動化4部品
生産数量



4部品全体の生産数量推移
中期計画期間('16-'18年度)
74%増 (予測)

4. 第2四半期トピックス - 新規事業 -

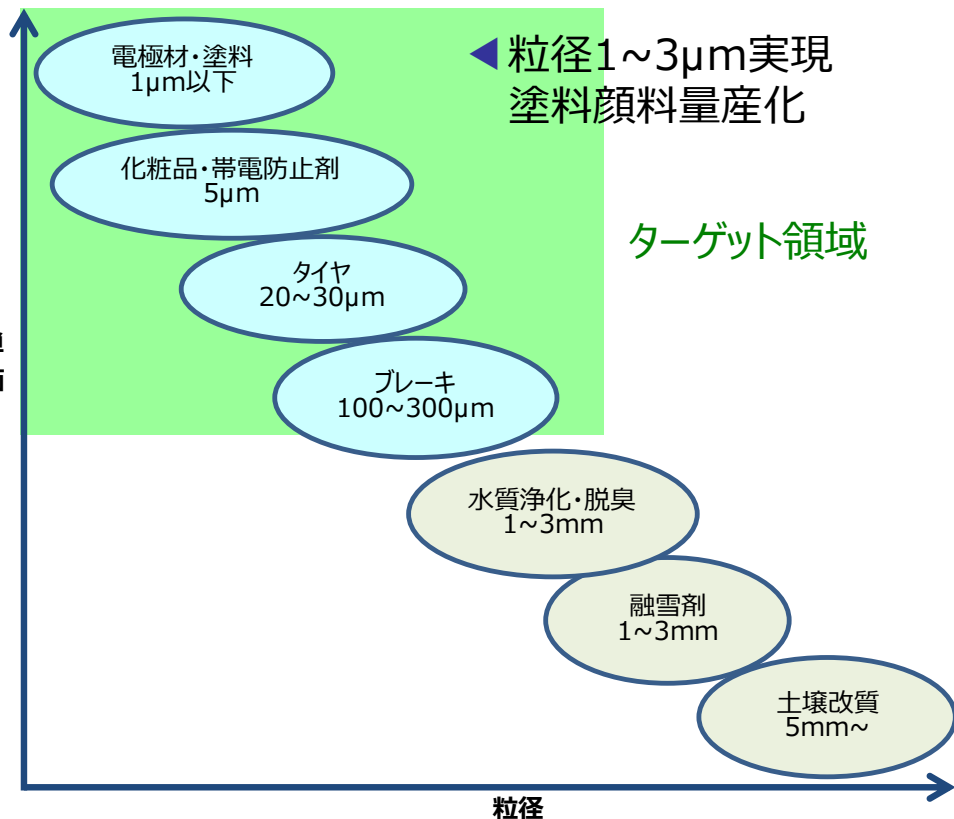
環境・エネルギー事業

炭素材開発 竹炭

京都の会社が京都の竹を利用した京都ブランド

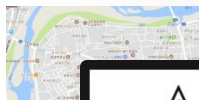


【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標



▼塗料顔料量産化

—家電/カーナビ タッチパネル用顔料



▼塗料顔料採用拡大

—高級車インパネ/情報機器



●電極材料用炭素など
付加価値製品の開発

4. 第2四半期トピックス - 新規事業 -

医療・介護機器の開発

リハビリロボット
『装置型運動支援装置』



人工膝関節置換術後の歩行リハビリ補助

『オルソボット』



脳卒中後の歩行リハビリ補助

※当開発品は当社が参加する京都大学COI (Center Of Innovation) 拠点グループ2で共同開発を行っています。

産業用運動支援装置



長時間作業など労働支援
想定：農作業など

医療周辺機器



EMS
受託生産

【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

▼『装着型運動支援装置』開発

▼製造販売許可取得

▼『オルソボット』開発

◆ 18年度上市準備

◆ 倫理委員会申請中 ● 実証実験ステージへ

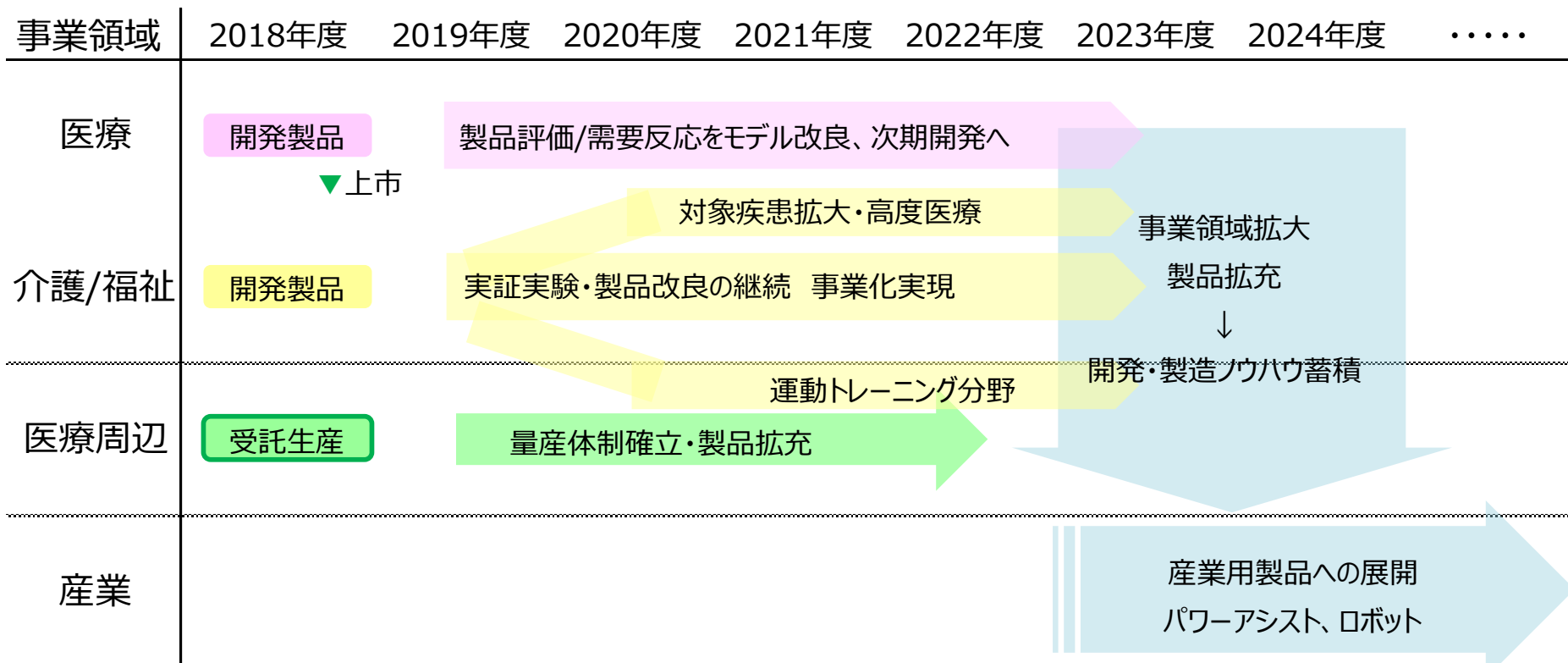
◆ EMS生産準備 (受託生産)

4. 第2四半期トピックス

－ 新規事業 －

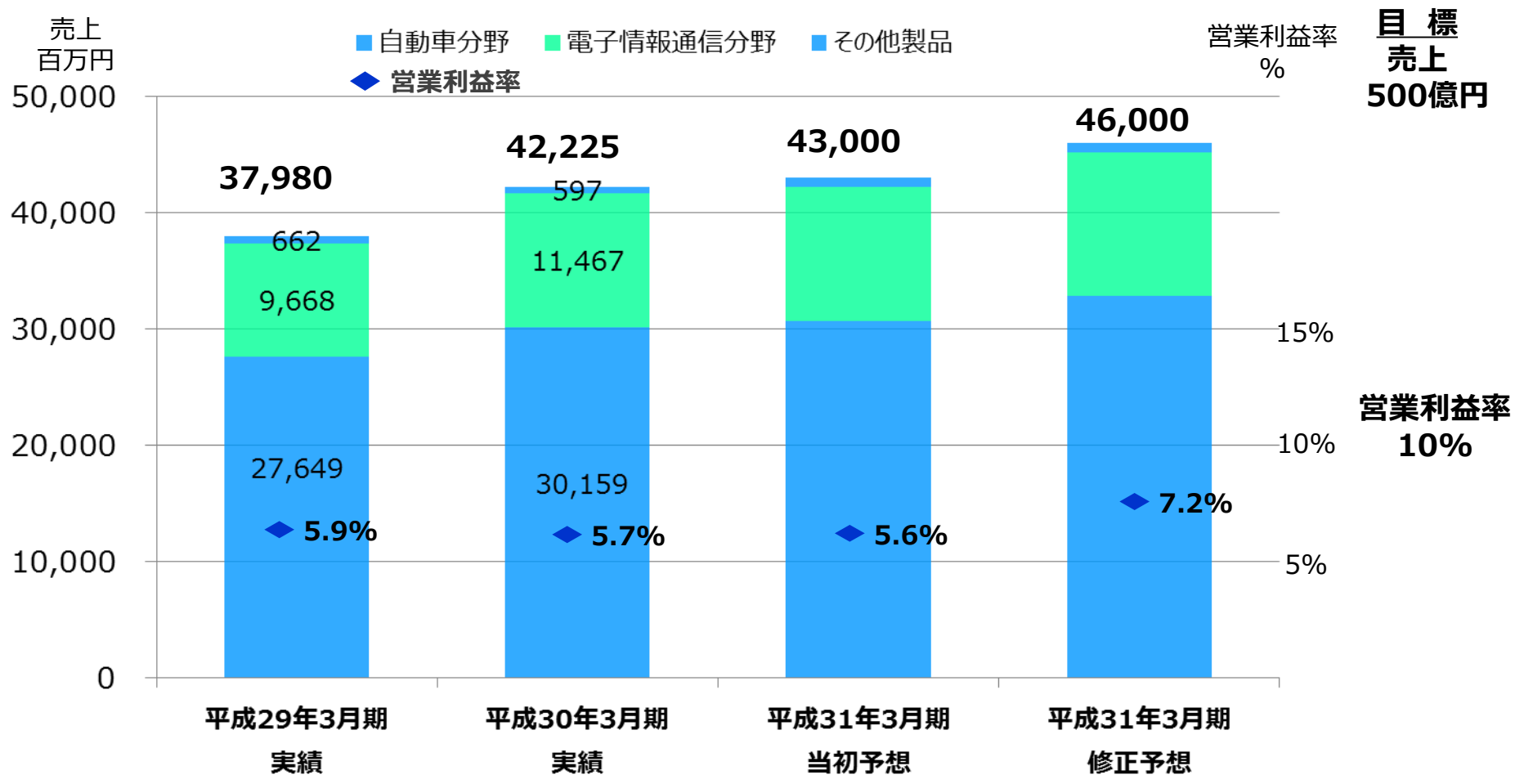
医療・介護機器の開発

事業化に向けたロードマップ



中期経営方針 — 定量計画 —

— 定量イメージ（将来目標） : 連結売上500億円 / 営業利益率 10%



Fine Precision, Nano Solution

